



～尾花沢の未来をひらくいのち輝く人間の育成～

## 学習の基盤となる「学びに向かう力・人間性等」

第1号で話題にした、実業家で京セラ創設者の故稲盛和夫氏は、「人生の方程式」を次のように定めています。

$$\text{人生・仕事の結果} = \text{考え方} \times \text{熱意} \times \text{能力}$$

学びを人生や社会に生かそうとする  
学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる  
思考力・判断力・表現力等の育成

特に、「考え方」にはプラスとマイナスがあり、いくら「熱意」や「能力」が大きくても、「考え方」がマイナスでは逆に社会の損失となるとも言っておられます。

今回は、学校教育で求められる資質・能力の3つ目「学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等」を取り上げます。具体的には「主体的に学習に取り組む態度」「自己の感情や行動を統制する力」「よりよい生活や人間関係を自主的に形成する態度」「自分の思考や行動を客観的に把握し、認識する力」等になります。

令和4年度の全国学習状況調査で、「学びに向かう力・人間性等」に係る質問項目で、本市の児童生徒の傾向は次のとおりです。※◎○成果、▲課題

小学校	中学校
○将来の夢 ○失敗を恐れない挑戦 ○思いやり ○学習計画の立案 ○60分以上の家庭学習時間の確保 ○60分以上の読書学習時間の確保 ○授業(国語・算数・理科)への前向き姿勢 ◎地域の人との交流 ◎地域行事への参加 ◎地域貢献への意欲 ▲テレビゲーム、スマホ等でのSNSや動画視聴 ▲ICT機器の学習への活用	○失敗を恐れない挑戦 ○思いやり ○学習計画の立案 ○新聞を読むこと ○休日の家庭学習時間(60分以上)の確保 ○授業におけるICT機器の活用(週1回以上) ○総合学習での探究活動の充実 ○授業(国語・数学・理科)への前向き姿勢 ○多様な意見の尊重 ◎地域の人との交流 ◎地域行事への参加 ◎地域貢献への意欲 ▲テレビゲーム、スマホ等でのSNSや動画視聴 ▲ICT機器の学習への活用 ▲平日の家庭学習時間(120分以上)の確保

ぜひ、上の項目について、ご家庭でお子様と共に評価することで、一つ一つ客観的に把握し(このことを「メタ認知」といいます)、長所を伸ばし、短所を改善するためにどうしていくか、話し合っただけであれば幸いです。

市教育委員会でも今年度より実施していく「尾花沢こども未来PLAN」で子供たちに「学びに向かう力・人間性等」の涵養に努めてまいります。

【担当】尾花沢市教育委員会こども教育課  
教育指導室長 工藤 雅史  
TEL 23-3330